

## こども園における自己評価結果報告

こども園における自己評価の結果がまとまりましたので、ご報告いたします。  
自己評価の結果を踏まえ、今後の教育・保育の質の向上並びにこども園運営の資質向上に努めて参ります。

A：たいへんよい  
B：よい  
C：一部検討を要する  
D：改善を要する

項目	内容	評価				取り組み状況及び課題
		A	B	C	D	
教育・保育理念	(1) 理念や基本方針が職員に周知されているか		○			<p>・理念や教育・保育方針を、職員や利用者がより周知できるように、職員間で確認しながら、また保護者への情報発信にも努めています。</p> <p>・保護者アンケートより、職員の資質向上や教育保育の内容の充実不満だと感じる方や無回答の方がお一人ずついました。理念や基本方針に基づいた教育保育や一人一人の子どもの人格を尊重した教育保育を行うために、職員の共通理解がとても重要で、午睡の時間を利用し、園内研修や職員会、各種委員会等の話し合いの時間を確保しています。保護者の方にも職員が努力していることを情報発信し、伝えていきたいと思ひます。</p>
	(2) 理念や基本方針が利用者に周知されているか		○			
	(3) 理念や基本方針に基づいた教育保育が行なわれているか		○			
	(4) 一人一人の子どもの人格を尊重した教育保育について共通の理解をもっているか		○			
教育保育の計画	(1) 社会状況や子どもの実態、地域性を考慮し、必要に応じて教育保育課程の見直しを行っているか		○			<p>・乳幼児の園生活全体を視野に入れた長期の指導計画や週案、日案などの短期の指導計画などの作成では、職員間の共通理解とクラス担任間での話し合いが大変重要ですが、その時間が十分とれないことが課題となっています。今後貴重な話し合いの時間を確保できるような手立てを考えていきます。</p> <p>・子どもたちが主体的に日々の活動を展開していくために、行事や教室（英語・よさこい・お茶）のねらいや必要性を再検討し、行事の精選に努めています。</p>
	(2) 指導計画は、乳幼児の心身の発達を踏まえ、入園から修了までの長期的な視野を持って充実した生活が展開できるように配慮し作成されているか		○			
	(3) 子どもの生活が豊かになるように行事を精選し、子どもの発達を踏まえて、その内容や実施の仕方について見直しを行っているか	○				
子どもの発達援助	(1) 子ども一人一人の健康状態や発育・発達の状態を把握し、職員間にて共有されているか		○			<p>・一人一人の健康状態や発育発達については、朝の視診や連絡帳で確認し、職員で共有しています。一人一人を温かく迎え、安定して過ごせることを大切にしています。</p> <p>・子どもの食事に対する、職員間の思いや考え方に違いがあるのではないかと感じ、以上児・未満児に分かれ確認のための話し合いを持ちました。食事のマナーは大切ですが、何より保育者や友だちと一緒に安心して楽しく食事をする事が一番だと共通理解をしました。その上で、年齢に応じたかわりを行い、未満児組では少人数で食事をしていることや時には異年齢で食事することも取り入れたらよいこと等を全職員で確認しました。</p> <p>・子どもが主体的な活動を行うために、子どもが今何に興味を持っているのかを見極め、どんな環境を用意するのか、環境整備などについても職員間の話し合いが必要で、行事等に追われることのないように計画し、子どもと共に充実した教育保育をおこなうことができるように、様々な職種の職員とも、共通理解をして資質向上に努めていきたいです。</p> <p>・保育理念、方針、目標をいつも念頭に置き、子ども一人一人に優しく丁寧に関わることを大切に、子どもとの信頼関係を築いていきます。</p>
	(2) 子どもが安定感をもって過ごし、自分の気持ちを安心して表すことができるよう留意しているか	○				
	(3) 子どもに相応しい食生活が展開されるように、食事について見直しや改善を行っているか		○			
	(4) 子どもが食事を楽しむことができる工夫をしているか		○			
	(5) 子どもが主体的に活動できるような、人的・物的環境が整備されているか		○			
	(6) 子ども一人一人を受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われているか		○			
	(7) 健康安全や発達の確保を十分に図り、日々の環境を整えているか		○			
	(8) 子どもが自ら周囲の様々な環境と関わり、発達に必要な体験を積み重ねていけるよう努めているか		○			
	(9) 子ども自身が自分を肯定する気持ちを育んでいけるよう、継続的な信頼関係が築かれているか		○			

